

新庁舎・(仮称) 新福祉社会館建設 基本設計市民説明会(1回目)	日時	令和2年2月13日(木) 19:00~20:20	場所	公民館緑分館 学習室A B
説明者	西岡市長、高橋庁舎建設等担当部長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉社会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、小林主任、萩野主任 地域福祉課 山口主査 (受託者) 株式会社佐藤総合計画			
参加者数	14人(うち市議会議員3人)			
次第	1 開会 2 市長挨拶 3 基本設計の経過報告について 4 基本設計(案)の説明について 5 質疑応答 6 閉会			
(進行: 渡辺主査)				
<p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 基本設計の経過報告について</p> <p>4 基本設計(案)の説明について 高橋庁舎建設等担当部長が3について説明を行った後、株式会社佐藤総合計画が4について説明を行った。</p> <p>5 質疑応答</p> <p>【市民A】 レイアウトについて、学校教育と社会教育を1フロアにまとめるほうがいいと思うが、そのような検討はしているのか。学校と地域の連携について考えると、学校、生涯学習と子ども関係が1フロアで連携を取ったほうがいいと思う。</p> <p>【庁舎建設等担当部長】 レイアウトは、庁内で複数回ヒアリングを行い作成したものである。1階は市民が多く利用する部署を配置し、2階は(仮称)新福祉社会館との連携を考え、福祉保健部を配置し、3階は、税部門も市民が多く利用することから低層階が望ましいという考えがあり、税部門と子ども家庭部の他、生涯学習部等としている。教育委員会と子ども家庭部という配置案を庁内で示してきたが、生涯学習部と学校教育部は必ずしも同じフロアである必要はないという見解があり、このような設えとしている。</p> <p>【市民A】 3階の生涯学習課に公民館本館の職員は入るのか。入るのであれば、何人を想定しているか。</p> <p>【庁舎建設等担当部長】 公民館については、公民館の中長期計画を策定している最中と聞いており、中間報告において、公民館の本町分館を新庁舎の中に配置する考えが示されていることは認識しているが、入るかどうかは市の方針確定による。執務室レイアウトの前提として、現在の組織をベースに考えているが、今後の組織改正等に対応できるようユニバーサルレイアウトを採用しており、仮に本町分館の職員8人を配置するにしても、対応は可能であると考えている。</p> <p>【市民B】 市報特集号の中に、株式会社佐藤総合計画がなぜ選ばれ、何が良かったかが書かれていない。また、バスが駅から真っすぐ来られないことについてどのように考えたか。</p> <p>【庁舎建設等担当部長】 設計者の選考過程等については、5月15日号の市報特集号を発行しているほか、市民説明会も開催した。現在は、基本設計(案)取りまとめる段階として、市報特集号を作成し、市民説明会を開催している。庁舎への動線について、現在、地域公共交通会議でコミュニティバスのルート見直しを行っている。現段階では、敷地内にコミュニティバスのバス停を計画している。</p> <p>【市民C】 建物の耐用年数はどのように考えているか。また、建物の形状が段上となっているが、メンテナンスはどのように考えているか。</p> <p>【株式会社佐藤総合計画】 設備の定期的な更新をする等適切に維持管理を行うことで耐用年数は100年を想定している。段上</p>				

形状部分については、メンテナンスがしやすいような装置を設置して、維持管理費が下がる計画としている。

【市民B】

建物形状を上にしたがって大きくすることのメリットはなにか。

【株式会社佐藤総合計画】

ひろばをなるべく広くとりたいという要望に対して、現在の計画のように1階の建物の床面積を小さくし、ひろばをなるべく広くとるという案としている。また、(仮称)新福社会館1階の一部をピロティとすることで通り抜けができる空間をつくることで、オープンスペースを広くとることができている。構造については、段上形状ではあるが、柱はまっすぐ通しており、バランスの良い計画としている。建物を計画する際に地盤に面する部分は、杭や基礎、掘削のコストがかかるため、1階部分を小さくすることで地下工事を少なくしてコストを抑える計画としている。

【市民B】

段上ではなく、3階以上をフラットにしたほうがメンテナンスしやすいのではないかと。

【株式会社佐藤総合計画】

メンテナンスコストは変わらないと考えている。また、一般的に建物をせり出させるには建設コストがかかるが、徐々にせり出す方が構造的にもバランスが良く、コスト面からも構造的にも合理的と考えている。

【市民D】

小金井ひろばの面積はどの程度か。(仮称)新福社会館の屋上庭園を活用した立体的なひろばとの提案だが、障がいのある人はエレベーターによるアクセスとなるのか。

【株式会社佐藤総合計画】

正確な面積は持ち合わせていないが、敷地の半分程度はオープンスペースとしている。オープンスペースを広くできている理由は、1階を小さくしていることと(仮称)新福社会館の1階をピロティとしていることである。(仮称)新福社会館の屋上庭園へのアクセスは、(仮称)新福社会館のエレベーターを利用してひろばへ出ることができる計画としている。仮にスロープを設置すると相当長くなり、車いす等の利用は現実的ではないと考えている。

【市民E】

(仮称)新福社会館は、旧福社会館と同じような使い方になるか。3階は福祉関係ではない設えと考えられる。また、(仮称)新福社会館の屋上には出られるのか。

【福社会館等担当課長】

1階は社会福祉協議会や多目的室、2階に複数の多目的室を計画している。その他、視聴覚室、印刷作業室や調理実習室を計画しており、旧福社会館公民館本館で行っていた活動もできるような設えと考えている。また、福祉総合窓口など福祉関係を配置している。3階は保健センターの機能を集約する計画である。4階の屋上庭園でも活用できる設えとしている。

【市民D】

既存の清掃関連施設はどこに移転する予定なのか。

【市長】

不燃系の清掃関連施設の再整備を環境部で進めており、空き缶、ペットボトル処理施設は貫井北町の中間処理場に令和6年度中に移設することを計画している。清掃関連施設の再整備及び新庁舎・(仮称)新福社会館建設事業は優先的に取り組むべき課題と認識している。

【市民E】

災害時、屋上にヘリコプター等が停まる想定はしているか。

【庁舎建設等担当部長】

災害発生時、庁舎は災害対策本部を設置する災害対策の拠点となる計画である。(仮称)新福社会館は、災害時医療救護活動拠点となるが、この場所で医療行為は行わない想定であり、ヘリポートの設置は想定しない。

【市民A】

図書館や公民館といった社会教育施設はどのように考えているか。

【庁舎建設等担当部長】

本計画では、いずれも設える予定はない。先ほどのご質問に対する回答のとおり、公民館は、中長期計画の中で、公民館の在り方を検討していくべきことであるが、中間報告として、公民館の本町分館を新庁舎の中に配置する考えが示されていることは認識している。しかし、公民館全体の話として確定しているものではなく、仮に本町分館の職員が入る場合であっても、ユニバーサルレイアウトで計画して

いるため、対応が可能な設えであると考えている。

【市長】

図書館は、空調や外壁の修繕を行ったことから、庁舎建設予定地内に図書館を設置する考えはない。現在の図書館を使用していく考えである。

【市民B】

屋根のある地下駐車場に思いやり駐車場を配置したほうがよいのではないか。

【株式会社佐藤総合計画】

思いやり駐車場は、施設利用者が一番使いやすい場所に配置したいと考え、エントランスに最も近い位置に計画しており、2台は、雨に濡れないピロティ下に計画している。また、思いやり駐車場は大きいスペースが必要となるため、地下駐車場に比べて面積効率の良い地上部に計画している。

6 閉会

— 以上で、閉会 —